

令和4年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

代表質問 通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	公明党 河野木綿子	1. 子育て支援政策の今後について	<p>(1) 第2期南アルプス子ども・子育て支援事業計画が2020年から2024年まで策定されているが、今後、国の「こども家庭庁」の創設も踏まえ、新年度に向けて政策の考え方が大変重要になる。現在（仮称）南アルプス市子育て応援宣言を検討しているが、南アルプス市の子育て支援の根本的な理念と方針をどのように考えているか。</p> <p>(2) 国の12月補正予算で「出産・子育て応援交付金事業」が上程された。地方自治体の取り組みを活かしながら、地域の実情に応じて取り組むことが出来るよう、地方自治体の創意工夫に基づく柔軟な仕組みとする事業で、妊娠時5万円、出産時5万円が交付される。本市の事業実施の考えは。</p>
		2. 孤立する男性介護者への支援について	<p>厚労省の2019年国民生活基礎調査によれば、パートナーや親を介護するのは、3人に1人が男性である。ジェンダー平等の立場からすれば、介護者のほとんどを女性が担わされてきた状況であり、男性介護者だけを特別に扱うことは、どうか。との観点もあるが、男性は、介護を1人で抱え込み孤立し、深刻な問題につながるケースが多いとの指摘がある。そこで、これまでの介護者全体への支援を踏まえ、男性介護者の支援の対策は。</p>
		3. 奨学金返済支援について	<p>令和3年6月議会の代表質問で、本市の青年から就職後の奨学金返済に苦労した等のお声を頂いたことや今後の若者のIターンやUターンにもつながるとして奨学金返済支援事業を実施するよう提言した。今後検討していくとの答弁だったが、その後の進捗状況は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	未来創政の会 矢崎 俊秀	1. 南アルプス I C 新産業拠点整備 事業について	<p>(1) 南アルプス I C新産業拠点整備事業の協定が、株式会社ヒカレヤマナシ及びコストコホールセールジャパン株式会社と本年7月4日に協定が締結されたところであるが、これに至るまでの募集を始め企画提案にあるプロポーザルなどの公募や審査など一連の事務執行に問題はなかったのか。</p> <p>(2) 6月28日開催の総務常任委員会で質疑された南アルプス I C新産業拠点整備事業について、担当課の説明や答弁は法令等の根拠を基になされていることで間違いはないのか。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	未来創政の会 矢崎 俊秀		(3) 優良な商業機能の誘致に成功したのは、当該土地利用の方向性について、集客や交流機能と「通年観光や交通のハブ拠点」を一体的に機能することを計画に求めたことが、新たな商業の枠組みの事業展開であると企業サイドから評価が得られたもので、市担当者の政策形成力を評価するものである。その一方、私はこの度の南アルプスIC新産業拠点整備事業における応募企業数の4社は予想を下回る低調な結果であると捉えている。低調の背景要因として、市は計画地一帯を利便性の高い場所として土地利用の可能性を高く評価しているが企業の価値観と異なった評価にあったと考えられる。このことを明らかにすることは今後の本市の企業誘致政策の在り方に生かすべきで、そのことが新たな投資の仕方を導きだすことに繋がるものと考えている。そこで、市の情報提供が少ない中で細切れの情報を繋ぎ合わせて問題点を整理した。改めて応募企業数が低調にあった主な原因を指摘する。まず一つ目に、公募は土地利用の付帯条件が多く、開発規模の大小を問わず事業収益性を潤沢に上げることが出来ない縛りであった。二つ目に大規模集客施設の開発における広域調整に関する見通しを示さないままにあった。このことが「企業サイド」がリスクと捉えて応募数が伸び悩んだものである。三つ目に用途地域の指定の目途がないことから、将来、他の用途としての土地活用の流動性に支障があることも応募が低調な背景要因にある。などを低調な要因と捉えたところであるが、この指摘を受けて、多くの情報を把握している市当局が正しく検証すべきで、その結果を教訓として、南アルプスIC周辺整備事業などに生かすべきであるが市の所見を求める。

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	未来創政の会 矢崎 俊秀	2. 広河原山荘の開業から得られた教訓と事業評価について	<p>(1) 操業開始から1年未満にあるが短期の営業で得られた教訓は何か。</p> <p>(2) 広河原山荘の営業実績は現時点では、通年実績には無いが開業からの利用状況を踏まえてどの様に事業評価とするのか。</p>
		3. 広河原山荘新築工事実施設計における、損害賠償命令請求住民訴訟事件について	<p>広河原山荘新築工事実施設計における、損害賠償命令請求住民訴訟事件については、市民から令和2年11月25日に提訴されて本年10月4日結審となった。2年の長きにあるが市はどの様に受け止めているのか。</p>
		4. 教育委員会所管の若草小学校改築事業における公募型プロポーザルについて	<p>本市の工事や業務委託等は、従来から原則市内業者育成の観点から市内業者を対象に発注されてきた。また、重要度の高い事業における業務委託や工事については、市内業者の実績や能力を超える場合は共同企業体を念頭に発注されてきた。この度の若草小学校改築事業における公募によるプロポーザル実施は県外からも応募できるような公募要件にあるがその意図は何か。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>名取 泰</p>	<p>1. 市の交通施策について</p>	<p>本市でも調査研究が進められているデマンド交通について、市民団体が行なった高齢者向けのアンケート調査では、約半数の方が「コミュニティバスや高齢者タクシー券よりも使い易そう」と回答している。</p> <p>デマンド交通の導入にあたっては、乗り合い制にする、運行地域や乗降場所をある程度定める、1回100円～300円で利用できるなどの内容をタクシー会社と調整することで、実施することは十分可能であると考えます。またそれはコミュニティバスの利用促進にもつながると考えます。</p> <p>これらを検討し、既存の高齢者タクシー券事業を発展させるかたちで導入することが望ましいと考えるが、市の考えは。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>名取 泰</p>	<p>2. 市の入札について</p>	<p>(1) 本市の入札結果と、その後の実際の事業費を比較すると、落札後に増額変更されるケースがある。こうしたケースは令和3年度では何件あり、増額の主な要因は何か。</p> <p>(2) 落札後の増額変更は、入札による節減の効果を失わせない上でも、入札の公正を保つ上でも慎重な対応が必要となる。本市の基準や対応はどうなっているか。</p> <p>(3) 今年の市議会3月定例会で、入札前の予定価格を設定する際の参考見積のあり方について質問をした。その際、1社からしか参考見積りを取らない場合、入札にその1社が応札すれば他社よりも有利になり、公平性を欠くことを指摘した。そこに今回の落札後の増額変更が加わることが懸念される。令和3年度において、「1社からだけの参考見積」＝「その1社による落札」＝「その落札後に増額変更」という一連のケースがあったか。</p>
		<p>3. 学校給食費の無償化について</p>	<p>市は、物価高騰対策として、小中学校の給食費について、今年度11月分から年度内を無償化した。また、10月7日の議員説明会で市長は、来年度以降についても無償化に向けた検討を行なっていることを表明した。現在の検討状況と今後の方向について、市の考えは。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	南風 藤田亜由未	1. 多様な教育環境の充実について	<p>(1) 文部科学省は、10月27日「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」を公表した。その中で、全国の不登校児童生徒数は244,940人、山梨県においては1,681人で9年連続で過去最多となった。本市における現状と、その分析結果に基づく具体的な対策は。</p> <p>(2) 不登校の要因やニーズが多岐にわたることから、文部科学省では「不登校児童生徒に対する支援推進事業」の中で、不登校児童生徒支援協議会の設置を提唱しているが、協議会の設置に対する本市の考えは。</p> <p>(3) 近年の感染症の蔓延も加わり、子どもたちの学ぶ環境が大きく変化するのに伴い、現状に合わせた教育環境を整える必要がある。以前より積極的に導入を図ってきたICT端末等を利用したセーフティネットとしての学習支援の機能強化についての本市の考えは。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	南風 藤田亜由未	2. 子ども子育て応援宣言と子どもの権利条例の制定について	<p>(1) 来年の3月に行われる予定の「南アルプス市ファミリーフェスタ」において「子ども・子育て応援宣言」を発表することだが、そのおおまかな内容と、宣言後の具体的な取り組みは。</p> <p>(2) 本市は「子育てしやすいまち」を目指し、子育て支援に注力してきたが、「子どもの人権」「子どもの権利」そのものを守る条例は制定されていない。条例制定が必要であると考えているが本市の考えは。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	南風 藤田亜由未	3. DXの推進について	(1) 今後、人口減による人材不足は避けられず、大きな課題であり、DX化に向けて早期に対応していかなければならないと考えるが、本市の考えは。
			(2) 庁内での取り組みの現状と今後の方針は。
		4. 子ども達が豊かにいきいきと生きていける、今後のまちづくりのビジョンについて	市長は、第3回定例会において、来春の市長選への出馬を表明されたが、未来を担う子ども達がより豊かにいきいきと生きていける、今後のまちづくりのビジョンは。

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	新政南アルプス 有野 一成	1. 物価急騰に対する市民生活等への対策について	<p>(1) ロシアのウクライナ侵攻や円安等が原因で物価が急騰している。市民生活等にも大きな影響を与えている物価急騰について、市はどのように考えているのか。</p> <p>(2) 生活に身近な食料品等の値上がり傾向が来年も続くと言われている。政府は国民生活を守るため来年から電気料金等の支援を実施しようとしている。市は市民生活を守るため独自の支援策等を検討しているのか。</p> <p>(3) 国、県等は、エネルギーや原材料価格の高騰により影響を受けている中小事業者等に対して補助金等の支援を行っている。市は市内中小事業者等の経営を守るため、国や県とは違った支援策等を検討していく必要があると思うが、市の所見は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	新政南アルプス 有野 一成	2. 福祉総合相談体制の充実について	<p>(1) 「市民が生活に困っても、生きることをあきらめない」を目的として、平成24年度に福祉総合相談課を創設し、また、平成27年度には生活困窮者自立支援法が施行されたことに伴い自立相談支援機関を設置した。設置から今日までの相談支援業務の現状と課題等について、市の所見は。</p> <p>(2) 後期基本計画では、総合相談体制の充実と強化を図るため庁内や社会福祉協議会等の関係機関と連携を図り、市民が気軽に相談できる場を充実させ、複合的な課題に対応できる相談支援体制を強化すると述べている。具体的にどのような取組みを行っているのか等について、市の所見は。</p> <p>(3) 生活困窮者の自立に向けた支援方針を立て、関係機関等と連携し、住まいの確保や生活面への支援と就労支援を推進していく。また、子供に対しては学習・生活支援等の取組を推進すると述べているが、その内容等について、市の所見は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	新政南アルプス 有野 一成	3. 健全な財政の維持について	<p>(1) 本市の「財政健全化判断比率」は、県内13市の中で突出して良好であり、特に将来負担比率は数値が出てこないほどの良好な現状にある。しかし、今後は合併特例債も無くなるため本来の交付税に戻り、また、税金も企業誘致等により、ある程度増収は見込めるが、大幅増までは期待できないように思える。そのような状況の中、今後は健全な財政維持が難しくなっていくと思われるが、市の所見は。</p> <p>(2) 歳入面では、市税等の徴収率向上、受益者負担の適正化、未利用財産の売却・貸付、ふるさと納税の推進等により、自主財源の確保に努めるとあるが、具体的にどのように実現していくのか、市の所見は。</p> <p>(3) 歳出面では、公共施設の適正配置、経費の節減・合理化の徹底、補助金等の適正化、事務事業評価の適切な運用等により歳出の抑制に努めると言っているが、どう実現していくのか、市の所見は。</p>

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	公明党 小池 伸吾	1. 動物との共生について	<p>(1) 本市における、飼い主のいない犬・猫の現状をどう捉えているか。</p> <p>(2) 地域猫をむやみに増やさないためのTNR活動における、県の助成金の利用実態と今年度の見込みは。</p> <p>(3) ボランティア活動をされている方は多くの保護した犬・猫の面倒を見ている。譲渡会を行わなければ増える一方である。譲渡会の会場の提供をすべきと思うが市の考えは。</p> <p>(4) 子供たちへの教育として、ふれあい教室などを提案するが、考えはあるか。</p>

一般質問通告表

No.2

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	公明党 小池 伸吾	2. 災害時の対策について	<p>(1) 災害時、避難所使用時のトイレについて基本的な考え方は。</p> <hr/> <p>(2) トイレトレーラーの導入を提案するが、市の考えは。</p>

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>松野 昇平</p>	<p>1. 農業・農村振興 と地産地消につ いて</p>	<p>(1) 農業及び農村の振興に関する取組みが市民の共通理解のもとに図れるよう制定される農業振興条例。平成29年3月の質問において、長野市農業振興条例を先進事例として紹介した際に、市からは「先進事例の資料収集等から始めていく」と答弁があった。その後の、進捗状況は。</p> <p>(2) 条例制定の調査・研究として、また、地産地消の推進やこれからの農業政策のあり方や基本方針に反映させることを目的として、市民と農業者等にアンケートを実施するべきと考えるが、市の所見は。</p> <p>(3) 将来の農業を支える農業者の確保・育成は農業や農村を維持するうえで緊急の課題である。昨今、農業女子や地域おこし協力隊の活躍がメディアでも取り上げられているが、担い手掘り起こしのためのさらなる周知や環境整備等の取組みについて、市の所見は。</p> <p>(4) 地産地消は、地域内流通を高めることを通じて生産者と消費者を結び付け、地域農業の活性化に繋がるものである。地産地消をさらに推進するためには、地産地消コーディネーターの配置など恒常的な地域食材の利用促進を図る体制づくりが急務と考えるが、市の所見は。</p>

一般質問通告表

No.2

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>松野 昇平</p>	<p>2. 食の自立支援事業について</p>	<p>市は、「食の自立支援事業」において、調理が困難な高齢者に、食事をお届けするとともに安否確認を行う配食サービスを実施している。食材や燃料の高騰により事業者に影響がある中、サービスの質を維持するための取り組みについて、市の所見は。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	新政南アルプス 保坂 健	1. 戦没者慰霊について	<p>(1) 戦後77年がたって、戦没者遺族の高齢化が進み、遺族会会員も大幅に減少してきている現状がある。 今後も戦争を語り継ぎ、平和の尊さを次の世代につなげていくのが、私たちの責務と考えるが、市の所見は。</p> <p>(2) 慰霊碑についても、その維持・管理が困難になってきているという問題が発生している。 戦争の風化を防ぎ、平和の尊さを伝えるシンボルとして、郷土に残していくべきであると考えているが、具体的対策をどう講じていく考えであるか。</p> <p>(3) ウクライナに侵攻するロシア軍の残虐ぶりが連日のようにテレビで放映されており、これに怒りを覚えない人はいない。 戦争は、人間の尊厳や自由を侵害するものである。 そのためにも、子ども達に平和について興味を持ってもらうことが大切と考える。 市内の郷土史に関する施設等で、平和について活用している具体的事例があるか。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	新政南アルプス 村松三千雄	1. ゼロカーボンシ ティを目指す本 市の取り組みに ついて	<p>本市は、令和2年7月28日付けで、地球的規模の環境保全について積極的に取り組み、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」に取り組むことを宣言した。</p> <p>また、令和3年2月、全国初となる山梨県及び県内全市町村共同による「CO2ゼロやまなし」の実現に向けて、「やまなしゼロカーボンシティ宣言」を行っている。</p> <p>この宣言は、行政と市民や事業者の意識付けという性格もある。</p> <p>(1) 「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて宣言以降、「地球環境の保全に取り組むまち」としての、本市の取り組み状況と、中長期的にどのような構想・計画を持って推進していくのか。</p> <p>(2) 公共施設の二酸化炭素排出量の現況と、今後の公共施設への新エネルギー導入など、温暖化防止に向けた具体的な取り組みは。</p> <p>(3) 北岳の玄関口芦安の金山沢川沿いに、南アルプスの豊かな清流と急峻な地形を利用し、砂防堰堤を利用した「金山沢川水力発電所」を建設し、平成22年2月1日より運転を開始した。発電した電力は自家用電力として、近隣の南アルプス芦安山岳館、温泉ロッジ、白峰会館に供給し、余剰電力は売電している。</p> <p>「金山沢川水力発電所」は運用開始してから12年経過している。そこで、発電設備の維持管理状況と、設備延命化策など今後の設備活用方策は。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	<p>躍進会 北村千代子</p>	<p>1. けん引式車いす補助装置（「JINRIKI（じんりき）」）の活用について</p>	<p>(1) 「じんりき」は、坂道はもちろん様々な悪路でも驚くほどスムーズに移動が可能になるため、災害時の要援護者等の避難移送時に有効に活用できると考える。広く自主防災会等に導入する考えはないか。</p> <p>(2) 車いすの利用者の中には体力もなく自力で動かすことができない方には、災害時だけでなく、操作が簡単な「じんりき」を日常的に使い、外出を広げ、日常生活を楽しむことができる。現在、「じんりき」が介護保険制度の「福祉用具の貸与」の対象になっているが、利用が少ないと聞いている。有効に利用するためにもまず、広く市民に知ってもらうことが一番と考える。市としての考えは。</p>
		<p>2. 山梨大学医学部附属病院（医大）へコミュニティーバスの運行導入について</p>	<p>現在、地元のクリニックからの紹介状等もあり、医大を受診している市民の方々が多い状況である。現在、医大を受診している市民は、国民健康保険で1か月平均700人、後期高齢者医療保険では1か月平均540人が受診している。そのほか社会保険の対象者や生活保護受給者も受診している。通院について、特に高齢者は車の運転免許証を返納したり、身体的に運転に不安を感じ通院に苦慮している。以前は小笠原から医大経由甲府駅行きの山交バスがあったが、平成23年11月廃止路線となった。現在、コミュニティーバス5号線は東花輪駅まで1日4往復している。この路線に医大を経由して運行してほしいと、市民からの切実な要望がある。医大までの運行を必要と考えるが、市の考えは。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
11	<p>躍進会 野中 國幹</p>	<p>1. コロナウイルス感染に伴う、市内感染者の状況について</p>	<p>本年11月22日の山日新聞によると、10万人当たり直近1週間の山梨県の感染者は、全国7位と位置づけられ、上位は北海道や東北地方など寒冷地が多く、甲信越3県はいずれも10位以内と報道された。そこで、南アルプス市の感染者数値は直近一週間をみると、一日平均78人となっている。その後の数値も前週を上回る状況であり、本市は県内において2～3番目に発生者が多いことが伺える。この感染者はどこで、どのような状況で感染されるのか、追跡調査等を行っているか、いわゆる感染場所等は把握されているか。</p>
		<p>2. 成年後見人の選任について</p>	<p>(1) 成年後見制度は、認知症や知的障がい等により判断能力が不十分な人に対し、法的に権限が付与された成年後見人が、本人に代わって適切な財産管理を行い、その人の生活を支援する制度とされている。そこで、この成年後見人の選任については、どのような経緯で選任していくのか。</p>
			<p>(2) 認知症や知的障がい等で、財産管理が出来ない個人に対して、成年後見人はどのような管理業務を行っているのか。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
12	小林敏徳	1. 新産業拠点整備 について	<p>地域交流エリアに参入する企業は、本市の基幹産業である農業振興とどのようにかかわっていくのか。</p>